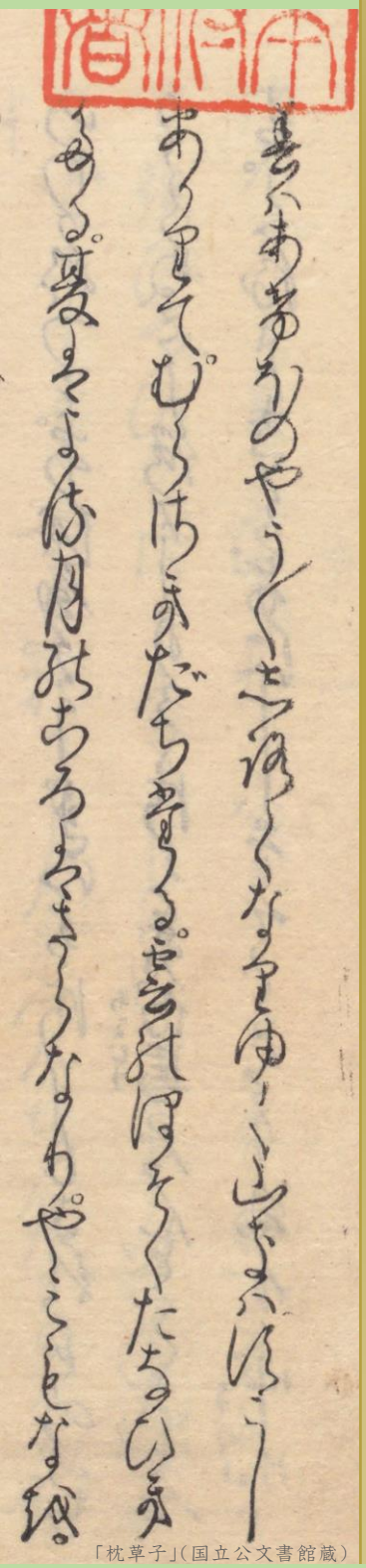
フィアラ先生の古典文学ゼミナール『枕草子』を読む



「枕草子」（国立公文書館蔵）

講師 カレル・フィアラ（福井県文書館古典文学顧問）

日本文学史で『枕草子』は特異な位置を占めています。藤原時代には、清原氏の女性が著した「冊子」として軽視される傾向がありました。しかし、『枕草子』は個人の日記というよりも、当代の出来事の体験を記した実録でもあり、また、著者のユニークな発想を記した日本はじめての随筆です。随筆としては、中古文学と中世以降の文学を新たに結び、発展させる力を持ちました。『枕草子』をユニークな発想の発見として、また、藤原摂関家支配の頂点に当たる一条天皇の御代の証言として読んでみませんか。

第1回	平成30年	6月2日（土）	13:30～15:00
第2回		6月30日（土）	13:30～15:00
第3回		7月21日（土）	13:30～15:00
第4回		8月25日（土）	13:30～15:00
第5回		9月8日（土）	13:30～15:00

会場は、すべて福井県文書館研修室

＊各定員 40 名。電話、Fax、メール等で事前に申し込んでください。

＊『枕草子　上』 島内裕子　校訂・訳（ちくま学芸文庫） 定価　1400円（ISBN978-4-480-09786-6）を用意して、受講してください。（受講無料）

福井県文書館 FUKUI PREFECTURAL ARCHIVES　〒918-8113 福井市下馬町 51-11　TEL 0776-33-8890　FAX 0776-33-8891

＊無料のフレンドリーバスが福井駅前東口から運行　http://www.library-archives.pref.fukui.jp bunshokan@pref.fukui.lg.jp